

新国立劇場 2016/2017 シーズン演劇公演

かさなる視点—日本戯曲の力— vol.3

マリアの首

—幻に長崎を想う曲—

作◎田中千禾夫

演出◎小川絵梨子

2017年5月10日(水)～5月28日(日)

新国立劇場 小劇場

「魂の叫び」が心に突き刺さる——

田中千禾夫戯曲の頂点に演出家・小川絵梨子が挑む

新国立劇場ではシリーズ「かさなる視点—日本戯曲の力—」と銘打ち、昭和30年代に執筆され日本近代演劇の礎となった3つの名作を、30代の気鋭の演出家三人の手に委ね、2017年3月から3ヶ月間連続で上演いたします。

シリーズ掉尾を飾るのは、田中千禾夫作『マリアの首—幻に長崎を想う曲—』。終戦後の長崎で、三人の女性の生きざまを軸に、神との対話と平和への祈りを描き、1959年、岸田演劇賞、芸術選奨文部大臣賞を受賞した名作です。戦争や被爆の体験を忘れようとする人々、その爪痕を残し記憶を風化させまいとする人々。さまざまな思いを詩的に、時に哲学的に描きます。

「戦争」とはなんだったのか、「生きていく」とはなんなのか。演出には、生々しい人間関係を緻密に描くことに定評がある小川絵梨子に迎え、第24回読売演劇大賞 最優秀女優賞を受賞した鈴木杏をはじめ、伊勢佳世、峯村リエら魅力的なキャスト陣、そして同賞大賞に輝いた美術の堀尾幸男ら磐石のスタッフ陣が「戦争」に向き合います。どうぞご期待ください。

【2月25日(土)チケット前売り開始 ☎ 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999】

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

◎新国立劇場 制作部演劇 広報担当 藤沢 花

TEL: 03-5352-5738 / FAX: 03-5352-5709

◎新国立劇場 制作部演劇 制作担当 茂木令子



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp>

◎あらすじ

爆撃され被爆した浦上天主堂の残骸を保存するか否かで物議を醸していた昭和20年代後半。昼は看護婦として働き、夜はケロイドを包帯で隠して娼婦として働く鹿。夫の詩集と薬を売りながら客引きをし、生計を立てている忍。鹿と忍が働く病院で献身的に働く看護婦の静。

いつまでたっても保存か建て壊しか結論の出ない市議会を横目に、原爆で崩れた浦上天主堂の壊れたマリア像の残骸を、秘密裏に拾い集めて、なんとかマリア像だけでも自分たちの手で保存しようと画策する女たち。

雪のある晩、最後に残ったマリアの首を運ぼうと天主堂に集まったが、風呂敷に包もうとしても、マリアの首は重く、なかなか動かないのだった……。

◎演出 小川絵梨子からのメッセージ

「マリアの首」は私にとって大きな挑戦だと思っています。昭和34年に田中千禾夫によって書かれた本作は、原爆投下後の長崎を舞台に、傷だらけになりつつ生き続ける人々の姿を大きな視点から描いています。目を背けたくなるような生々しさと、深く静かな祈りのような幻想が同時に存在する、壮大な世界観を持った作品です。私は現代英米作家の本を演出することが多く、作品も現代人の日々の葛藤を入り口としたものが多いので、この本は自分に身近で手触りの分かりやすいものでは決してありません。しかしこの本から感じられる、残酷さと深い愛情が混在する精神性にとっても心を動かされています。先に書いたように大きな挑戦になるとは思いますが覚悟を持って、この作品に飛び込みたいと考えています。

◎プロフィール

作◎ 田中千禾夫 (たなか・ちかお)

1905年、長崎市生まれ。劇作家、演出家。岸田國士、岩田豊雄らの指導を受け、32年、第一次「劇作」同人となり、処女作の「おふくろ」(築地座上演)が出世作となる。「教育」ほかで読売文学賞など受賞多数。戦後の主要作品に『雲の涯』『肥前風土記』『千鳥』『右往左往』など。95年没。

演出◎ 小川絵梨子 (おがわ・えりこ)



1978年、東京生まれ。2004年、アクターズスタジオ大学院演出部卒業。06～07年、平成17年度文化庁新進芸術家海外派遣制度研修生。10年、サム・シェパード作『今は亡きヘンリー・モス』の翻訳で第3回小田島雄志・翻訳戯曲賞受賞。12年、『12人～奇跡の物語～』『夜の来訪者』『プライド』の演出で第19回読売演劇大賞優秀演出家賞、杉村春子賞受賞。14年『ピローマン』『帰郷・The Homecoming』『OPUS／作品』の演出で第48回紀伊國屋演劇賞個人賞、第16回千田是也賞、第21回読売演劇大賞優秀演出家賞を受賞。最近の演出作品に『スポケーンの左手』『RED』『夜想曲集』『ユビュ王』など。新国立劇場では『OPUS／作品』『星ノ数ホド』の演出のほか、『ウインズロウ・ボーイ』の翻訳も手がけている。16年9月より新国立劇場演劇芸術参与。

鹿 ◇ 鈴木 杏(すずき・あん)



1995年デビュー。2003年、映画『Returner』で第26回日本アカデミー賞新人俳優賞と話題賞をW受賞。同年、『奇跡の人』のヘレン・ケラー役で初舞台。その後、蜷川幸雄、いのうえひでのり、鈴木裕美、松尾スズキ、長塚圭史ら実力派の演出家と組み、話題の舞台に出演し続けている。2016年『イニシュマン島のビリー』『母と惑星について、および自転する女たちの記録』で第24回読売演劇大賞 最優秀女優賞を受賞。ドラマ、映画はもちろん、ナレーションにも定評があり、活躍の場を広げている。最近の主な舞台に『海辺のカフカ』『元禄港歌～千年の恋の森～』『イニシュマン島のビリー』『母と惑星について、および自転する女たちの記録』『足跡姫～時代錯誤冬幽霊』(2017年1-3月)など。

新国立劇場では『るつぼ』『星ノ数ホド』に出演。

忍 ◇ 伊勢佳世(いせ・かよ)



1981年生まれ。神奈川県出身。

法政大学在学中に俳優座養成所に入所し、芝居の基礎を学ぶ。

2008年より前川知大主宰のイキウメに参加。『太陽』『聖地X』『関数ドミノ』『散歩する侵略者』など、ほぼ全ての劇団公演に出演する。

2016年同劇団を退団。以後も舞台、ドラマ、CM等で幅広く活躍。

近年の主な舞台に『暗いところからやってくる』『マンザナ、わが町』『紙屋町さくらホテル』『令嬢ジュリー』(2017年3月)など。

新国立劇場では『OPUS/作品』に出演。

静 ◇ 峯村リエ(みねむら・りえ)



1964年、東京都出身。ケラリーノ・サンドロヴィッチ主宰「ナイロン100℃」で活動するほか、劇団公演以外にも舞台、映像など幅広い作品に出演多数。昨年のNHK大河『真田丸』では大蔵卿局役で注目を集めた。近年の作品に、ドラマEX『民王』、WOWOW『メガバンク最終決戦』、TBS『A LIFE～愛しき人～』。映画『超高速！参勤交代』『ビリギャル』『HERO』。舞台『社長吸血記』『地獄のオルフェウス』『大逆走』『イニシュマン島のビリー』『どどめ雪』などがある。

新国立劇場では『アジアの女』に出演。

◎マンスリー・プロジェクトについて

一人でも多くの方に気軽に劇場に足を運んでもらいたいと、“開かれた劇場”を目指す芸術監督の宮田慶子。その一環として、演劇講座あり、リーディングあり、トークショーありの、多彩な無料プログラムを用意し、その月々に関連した演劇公演に多角的にアプローチしています。

募集期間内に、新国立劇場ウェブサイト所定のフォーマットでのお申し込みが必要です。詳しくは、新国立劇場マンスリー・プロジェクトのウェブサイト (<http://www.nntt.jac.go.jp/play/monthly/>) か、情報センター(03-5351-3011(代))でご確認ください。

演劇講座「シリーズ『日本の劇』VII～IX」

講 師:ふじたあさや(劇作家・演出家)

会 場:新国立劇場 情報センター

募集期間:12月1日(木)～

VII 「近代戯曲以前」

日時:2017年2月17日(金)18:30、18日(土)11:00

開国による近代化とともに、演劇にも近代化が求められた明治時代、我が国が持っていた演劇は、能、狂言、歌舞伎だけだった。「欧米には、普段しゃべっているみたいに台詞を言う芝居があるそうだ。それをやってみよう。」しかし……。

VIII 「戯曲が文学だったとすると」

日時:2017年3月17日(金)18:30、18日(土)11:00

旧劇を近代化し、新劇を確立するために、文学者たちの果たした役割は大きい。「旧劇が新作を作る力を持ってないなら、おれたちが作るより仕方がない。」泉鏡花・森鷗外・真山青果・岡本綺堂・菊池寛・山本有三・久米正雄などの活躍。

IX 「リアルとリアリズムの間で」

日時:2017年4月14日(金)18:30、15日(土)11:00

近代戯曲がとりあえずの目標に据えたのは〈リアル〉ということだった。だが、〈社会主義リアリズム〉の台頭は、その〈リアル〉に大きな揺さぶりをかけた。その中で真の〈リアル〉を求め続け、〈リアル〉を突き抜けた人々がいる。

トークセッション「かさなる視点—日本戯曲の力—」

出 演:谷 賢一、上村聡史、小川絵梨子、宮田慶子

日 時:2017年5月13日(土)18:00～

会 場:新国立劇場 小劇場

募集期間:2月9日(木)～

『白蟻の巣』『城塞』『マリアの首』の演出家たちが結集。日本戯曲の魅力や、お互いの作品、演出について、思う存分意見を交わします。視点はどこへ向かい、何を感じたのか? 宮田監督を交えてシリーズを振り返ります。

◎公演概要

【タイトル】 **マリアの首** —幻に長崎を想う曲—

【スタッフ】	作	田中千禾夫	【キャスト】	鈴木 杏
	演出	小川絵梨子		伊勢佳世
	美術	堀尾幸男		峯村リエ
	照明	服部 基		山野史人
	音楽	阿部海太郎		谷川昭一朗
	音響	福澤裕之		斉藤直樹
	衣裳	中村洋一		亀田佳明
	ヘアメイク	佐藤裕子		チョウ ヨンホ
	演出助手	渡邊千穂		西岡未央
	舞台監督	澁谷壽久		岡崎さつき
	芸術監督	宮田慶子		
	主催	新国立劇場		

【会場】 新国立劇場 小劇場 (京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結)

【公演日程】 2017年5月10日(水)～5月28日(日)

2017年	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
5月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
13:00			貸切	●	●	休演	★	●	●		●	●	休演	●	●	●		●	●
18:30	●	●								●	●					●	●	●	

★＝終演後、シアタートークあり

【前売開始】 2017年2月25日(土)10:00～

【料金】 A席6,480円 B席3,240円 (税込)

※「かさなる視点—日本戯曲のカー—」三作品通し券を発売中。

3月公演『白蟻の巣』、4月公演『城塞』、5月公演『マリアの首』各A席をセットで正価19,440円のところ、セット価格17,400円で販売。

【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999 (10:00～18:00)

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

【その他チケット取り扱い】

チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット ほか

【全国公演】

会場: 兵庫県立芸術文化センター 阪急中ホール TEL:0798-68-0255	会場: 穂の国とよはし芸術劇場PLAT 主ホール TEL:0532-39-3090
日程: 6月3日(土)15:00、4日(日)13:00	日程: 6月10日(土)13:00

* **Z席1,620円** 公演当日10時よりボックスオフィス窓口で販売。1人1枚。電話予約不可。* **当日学生割引** 公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。* 新国立劇場では、高齢者割引(65歳以上5%)、障害者割引(20%)、学生割引(5%)、ジュニア割引(中学生以下20%)など各種の割引サービスをご用意しています。